

## 「災害は忘れた頃に来る」

平成27年8月25日

今年は、台風が多く発生しております。今週末にも宮古島に台風15号がおいでになるような気配です。

宮古島は、沖縄本島から南西に約300km、東京から約2000km、北緯24～25度、東経125～126度に位置し、大小6つの島(宮古島、池間島、来間島、伊良部島、下地島、大神島)で構成されています。宮古島市の総面積は204平方km、人口約55,000人で、人口の大部分は平良地区に集中しています。島全体がおおむね平坦で、低い台地状を呈し、山岳部は少なく、大きな河川もなく、生活用水等のほとんどを地下水に頼っています。

また、毎年国際的規模のイベントである全日本トライアスロン宮古島大会、プロ野球のキャンプ、各種スポーツ団体の合宿等が行われ、島全体が「スポーツアイランド宮古島」としても活気づいています。

その宮古島！！沖縄地域など含め台風銀座と呼ばれ、毎年のように台風の被害に遭っております。子どもの頃は、台風が来るとよくドライブなどに行った思い出があります。また、「明日は台風で休みだ！！」と学生時は喜び、大人になると居酒屋で酒を酌み交わしたりしていました。たまに飲んだ次の日朝起きると、スズメのさえずりで飛び起きて苦い経験をしたこともあります。

さて、平成15年9月に襲来した台風14号は、「宮古島台風」、「第2宮古島台風」及び「第3宮古島台風」に匹敵する猛烈な台風でした。最大瞬間風速と最低海面気圧を更新するなど、記録づくめの台風でした。自分自身、自然災害の恐ろしさを改めて認識させられました。

台風14号は、平成15年9月6日15時にマリアナ諸島付近で発生しました。当初は、発達が鈍かったんですが、9日頃から猛烈に発達し、10日21時には、宮古島の南東海上で中心付近の最大風速55m/s、中心気圧910hPaで最盛期を迎えております。宮古島での最大瞬間風速北の風74.1m/sは、昭和43年の「第3宮古島台風」による78.0m/s以来、約35年振りの値を観測し、県内での歴代4位、国内では7位となりました。因みに宮古島での最大瞬間風速は、沖縄県内での最大瞬間風速の1位から4位までが宮古島が占めております。

この台風で、死者1人、負傷者83人、家屋の全壊13棟、半壊48棟。街路樹が倒れ、駐車中の車が横転したほか、民家の窓ガラスが割れたり、屋根が飛んだり、各地の道路には約880本の電柱が倒れ、交通はまひ状態になり、島内の停電は最長14日間に及び、市民生活に大きな影響を出しました。この台風で被害総額約78億円と資料で示されております。

また、ビックリしたのが宮古空港の管制塔の窓ガラスが破壊され、航空機の離発着もできず自衛隊のヘリで援助隊や援助物資を輸送していた記憶があります。

「天災は忘れた頃に来る」という言葉を言い出したのは寺田寅彦であるといわれています。危機管理というのはめったに来ない事、来るか来ないかわからない事に対処するために常日頃から準備、訓練を怠らない、というのが基本です。みなさんは、日頃から災害が起こる前に準備は行っておりますか？



資料 最大瞬間風速(参考資料:ウィキペディア)

順位	名称	国際名	最大瞬間風速	風向	観測年月日	観測地点
1	第2宮古島台風	Cora	85.3m/s	北東	昭和41年9月5日	宮古島
2	第2室戸台風	Nancy	84.5m/s	西南西	昭和36年9月16日	室戸岬
3	第3宮古島台風	Della	79.8m/s	北東	昭和43年9月22日	宮古島
4	台風第9号	Wilda	78.9m/s	東南東	昭和45年8月13日	名瀬
5	台風第23号	Shirley	77.1m/s	西南西	昭和40年9月10日	室戸岬
6	枕崎台風	----	75.5m/s	南南東	昭和20年9月17日	細島
7	台風第14号	Maemi	74.1m/s	北	平成15年9月11日	宮古島
8	台風第12号	Emma	73.6m/s	南	昭和31年9月8日	那覇
9	台風第20号	Wilda	72.3m/s	西	昭和39年9月25日	宇和島
10	台風第13号	Doug	70.2m/s	南東	平成6年8月7日	与那国島